

ま 真室川町

議会だより

2018年10月25日

No. **144**



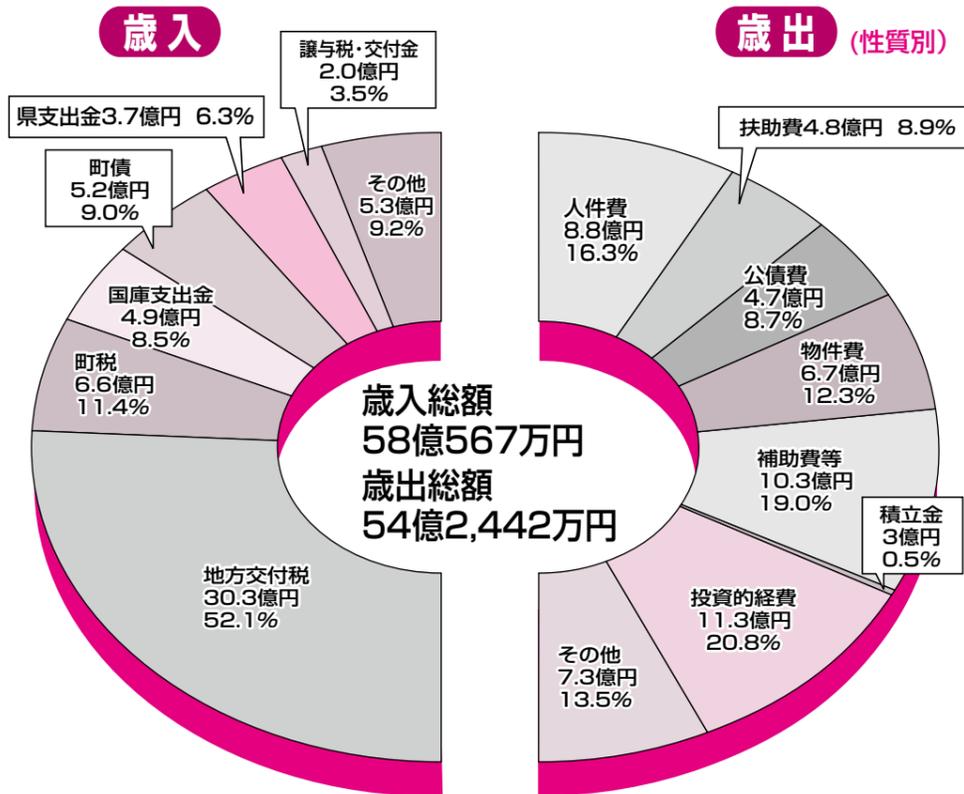
学校給食で地産地消すすむ（決算審査）	2
早期災害復旧に向けて（議案審査）	4
請願・議会の動き・臨時会	5
一般質問（7人登壇）	6
学力向上を目指して（教育懇談会）	10
佐渡市視察報告	11
真室川中学校3年生が傍聴（議会傍聴）	12
町民の声（西川地区区長 齋藤孝廣さん）	14

「私達が地域のためにできることは？」
～真室川中学校3年生～

学校給食で地産地消すすむ

8会計決算を認定!!

◆一般会計の構成



質疑のあれこれ

一般会計

町税収入

正委員 滞納分について早めに対処すれば税の支払いも可能であるし、滞納も出てこなかったのではないかと。町民課長

町民課長 不納欠損もあつたが、競売もあつた。話し合いのなかでは財産処分も勧めながらやってきた。積極的に会話して納税者の現在の状態、試算、収入家族など調べながら対処していきたい。

財産に関する調査

外山委員 出資金、出捐金に誤りがあつたが、**会計管理者** 県信用保証協会の出資金1246万円を出資金として掲載したこと、県砂防協会の237万円は区市町村全体のもので誤

財産売却収入

高橋委員 町有林間伐収入186万3千円とあるが、場所と売却のやり方について。

農林課長 大滝前山町有林で昨年の残りの分である。売却については、杉材の質ごと3段階に分けたうえで3業者の入札によつて売却した。

教育費

菅原委員 教育振興費

の外国人報償費について。25年度からのものを町長引き継ぎの際に発覚したもの。今後はチェック機能を明確にし、このような事がないようにしていく。

代表監査委員 今後このようなことが無いようにチェックを強化していく。

町長 課長会議等でも検査機能の強化について検証して行く。

中学校振興費

成子委員 タブレット等購入台数と活用の位置付けは。

教育課長 20台である。普通教室において手軽に操作することができても利便性がある。グループ学習の一貫として対話、話し合うことを重視し、良い環境づくりになると思う。

社会体育費

成子委員 トップアスリート招聘事業の内容は。

教育課長 最上郡内の生徒を招待し、陸上競技の強化を図るためトップアスリートによる

も対応できる防衣を、操作員4名分を各班に配布済みである。

担い手育成費

高橋委員 収穫祭は認定農業者会が中心となり行われてきた行事である。イベントを継続するに十分な支援になつていくのか。

農林課長 実行委員会からの要望に答えながら実行してきた。多額な費用が発生した場合に補助金を増額して対応している。

水道事業特別会計

栄子委員 水道料金が高くなつていのではないかと。

建設課長 給水人口の推移から水需要の伸びは今後期待できず、料金収入の減も懸念され経営環境は厳しくなる模様だが、漏水防止に努めるなど経営改善を進めていく。

住環境整備

菅原委員 浄化槽設置事業費について。

建設課長 浄化槽の設置数が県下で一番少なく目標に達していないため建築業者や町民に説明を行い普及を進めている。

消防事業費

菅原委員 消防費の団員活動費について。

総務課長 火災だけではなく、豪雨・水害に

決算審査特別委員長意見(要旨)



決算審査特別委員長 平野 勝澄

■一般会計

(歳入)
・公債比率・将来負担率も横ばいもしくは改善されている一方で、必要な投資的事業を行い、健全財政のまちづくりが進んでいる。
・「ふるさと納税」について、総務省が返礼品について寄附額の3割以下の地場産品に限定する方針が出されたことで、さらなる町独自の返礼品を工夫され、寄附者や寄附額の増加に向け取り組まれている。

(歳出)
・人口減少問題に歯止めをかけるため、生活環境の整備が不可欠であるが、生活排水処理施設について、整備が進まない要因の一つとして「高齢化」が挙げられる。環境王国認定の町として、早急に整備を進められたい。

■特別会計

・水道事業特別会計において、漏水防止対策で総配水量に対する有収率を、早急に90%に向上させ、水の安定供給により、料金の抑制と適正な事業運営につながるよう望むものである。

平成29年度 各会計歳入歳出決算状況 (単位:円)

会計	区分	歳入額	歳出額
一般会計		5,805,676,129	5,424,418,709
特別会計	国民健康保険	83,637,269	82,343,936
	後期高齢者医療	89,150,399	88,687,658
	介護保険	1,187,166,160	1,160,684,069
	病院事業	968,279,186	966,632,918
	水道事業	338,055,147	336,162,648
	公共下水道事業	109,874,810	109,128,392
	梅里苑事業	123,747,440	118,411,850
合計		8,705,586,540	8,286,470,180

実技を学んだものである。小、中、高校生130人が参加した。

社会教育事業

外山委員 歴史民俗資料館をリニューアルする考えは。

教育課長 民話、昔語り、展示物を通して一つの

食育推進事業

栄子委員 食育推進事業にある地産地消について。

農林課長 現在地元産野菜の学校給食には、

ストーリーとして考えているので現状では考えていない。

ウルイ・米・タラノメが提供されている。**教育課長** 地元産で加工している牛乳が現在提供されているところであり、米にしても価格が高いので町で助成を行い提供している。**教育課長** 地産地消の給食は、子供たちの成長過程において、郷土愛・安心・安全・体の成長にも大事な食育となつていく。

住環境整備

菅原委員 浄化槽設置事業費について。

建設課長 浄化槽の設置数が県下で一番少なく目標に達していないため建築業者や町民に説明を行い普及を進めている。

消防事業費

菅原委員 消防費の団員活動費について。

総務課長 火災だけではなく、豪雨・水害に

※紙面の都合で割愛しましたが、大友議員も質問しています。

9月定例会

9月定例会は5日から12日までの8日間の会期で開かれ、町財政健全化比率の報告、各会計補正予算など、町長提出案件2議案（決算の認定を除く）を慎重に審議し、それぞれ原案のとおり可決されました。

◆町財政健全化判断比率・公営企業資金不足比率の報告
 実質公債費比率5.6%
 （前年5.5%）
 将来負担比率5.5%
 （前年6.4%）

◆一般会計補正予算
 既決予算55億1180万円に1億2150万円を追加。（主な歳出）

主な歳出項目	補正額
保育所改修工事設計委託料	842万4千円
園芸大国やまがた産地育成支援事業	396万5千円
森林所有者意向調査委託料	320万円
平枝地区消防小屋屋根修繕費用	718万2千円
農業小災害復旧事業費補助金	300万円
林道内ノ沢線災害復旧費用	1,000万円
町道他6カ所の災害復旧費用	5,800万円

小災害復旧事業補助金
 菅原議員 補助金の内容は、農林課長の40万円以上は公共災害が適用となる

る。自力で復旧できない工事については10万円以上という下限を通常は設けている。今回は、降水量も過去最大ということ、要項を見直しながら対応していく。
 外山議員 災害対策用にドローンを町で所有してもいいのではないかと。
 町長 操縦には大型、遠距離は陸上特殊無線技士の資格が必要。現場を確認する必要もあり、マンパワーを確保しながら技術的な問題にも対応と、本来の目的が達成できるようにやっていきたい。

保育所改修実施設計委託料

一廣議員 改修の理由、どのような根拠か。
 教育課長 個別に教育指導、保育をする環境づくりのため安楽城は増築、釜淵はレイアウト変更で各年齢に合っ

た保育居室を確保する。

真室川音頭発信事業

栄子議員 真室川音頭発信事業の取り組みについて。

交流課長

優勝者の全国民語大会出場の際に広報活動を行い、真室川に開催するグッズ、フェイスブックののぼり旗等で町内から首都圏に向けて発信活動を行った。

林業費用

高橋議員 森林所有者意向調査委託料320万円の内容は、

農林課長 国の森林環境税の補助で行うものである。町内民有林を適正に管理していくために所有者の意向調査をするための準備で、現地調査をし台帳整理等について業者委託するものである。

正議員 森林所有者意向調査を地元林業業者

に委託する考えは。

農林課長

調査委託については図面と情報の確認の出来る業者に限定して指名審査を行うつて進める。

山菜文化産業協会負担金

正議員 山菜文化産業協会とはどのような協会か。

農林課長 国内山菜の保存と拡大、資源の消費及び持続的な発展とともに地域に根ざした組織である。

水道事業特別

会計補正予算

既決予算2億9350万円に490万円を追加。

（主な歳出）
 ・安楽城第一水源地（野崎）管理道路測量設計委託料 490万円

議会のうごき

H30年7月～10月

- 7月30日(月) 農業委員・農地利用最適化推進委員との懇談会
 - 8月16日(木) 第3回町議会臨時会
 - 17日(金) 姉妹都市古河市との交流会
 - 27日(月) 議会運営委員会、全員協議会
 - 30日(木)・31日(金) 秋田・岩手・山形3県合同議長・事務局長中央研修会
 - 9月3日(月) 最上市町村議会議長会議、最上地方町村議会議長会議
 - 5日(水)・12日(水) 第3回町議会定例会
 - 25日(火)・26日(水) 荘内・最上両地方町村議会議長合同会議
 - 26日(水) 最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会
 - 28日(金) 町連合婦人会との交流会
 - 10月1日(月) 最上市町村議会議長会議
 - 2日(火) 四町村(金山・真室川・戸沢・鮭川)議会議員交流会
 - 3日(水) 最上広域市町村圏事務組合定例会
 - 4日(木)・5日(金) 村山・最上両地方町村議会議長合同会議
 - 10日(水) 町グラウンドゴルフ協会との交流会
 - 11日(木) 最上地区広域連合議会運営委員会、全員協議会
 - 12日(金) 最上市町村議会議員研修
 - 14日(日) 第45回東京真室川会総会
 - 16日(火) 県町村議会議員研修
 - 18日(木)・19日(金) 置賜・最上両地方町村議会議長合同会議
 - 22日(月) 県・市町村行政懇談会
 - 23日(火) 最上地区広域連合定例会
 - 23日(火)～26日(金) 議会報告会(8会場)
- 議会広報常任委員会の開催(9/26、10/4、10/11、10/17)
 ※この他、町主催の行事にも出席しております。

請願・陳情書等

●日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願

【請願者】生活協同組合共立社 新庄生協
 地域理事 議長 岸 昌子
 佐藤 一廣

【紹介議員】
 【請願趣旨】
 唯一の戦争被爆国である日本は、国際社会において核兵器廃絶の先頭に立つ責任があることから、地球上から核兵器をなくすため「核兵器禁止条約」に署名・批准することを政府に求めるもの。

【結果】採択 意見書として関係大臣に提出

種子法廃止に伴う万全の対策を求める請願

【請願者】農民運動山形県連合会 会長 小林 茂樹
 【紹介議員】 平野 勝澄

【請願趣旨】
 食糧自給率のさらなる低下が不安視される中、農家の生産意欲と品質向上への努力に大きな役割を担う「種子」の安定確保は、今後ますます重要になることから、万全の対策を求めるもの。

【結果】不採択

種子法廃止の代替案として、本県でも県民の意見募集を終えて、まもなく条例制定の動きがあることから不採択とした。

◆不採択に反対議員 外山正利議員、平野勝澄議員

第3回臨時会 ●8月16日(木)

平成30年度

◆一般会計補正予算
 歳入歳出予算総額54億7880万円に、それぞれ3300万円を追加
 （原案とおり可決）

主な歳出項目	補正額
農業小災害復旧事業費補助金	1,645万円
林業災害復旧事業費	138万円1千円
公共土木災害復旧事業費 (設計委託・応急対策重機使用等)	1,516万9千円



とづら沢川の災害現場

※「春夏秋冬」は今回お休みします。

被災農地への対応は

町長

主に小災害復旧事業を予定している



菅原 道雄 議員

議員 冠水・土砂や流木の流入・法面崩落など多くの災害が発生した被災農地への対応は。町長 農家の方や水利組合、農地保全会の代表者と現地で確認、復旧方法や時期などの検討を進め、小災害復旧事業予定は88箇所、多面的機能支払金や中山間直接支払交付金活用は13箇所と把握、農薬の購入費用に対する補助など被災農家の負担

を軽減できるように対応していく。

防災対応について

議員 今年2月全戸配布したハザードマップを検証する必要があるのでは。

町長 県によると、作成当時の浸水想定区域は24時間雨量を210mmとされていた。今般差首鍋観測所6日7時までの雨量では観測開始以来最大となる299.5mmを記録した。ハザードマップの被害災害想定区域と今般被災した区域と何力所かの差異があった。有事

新たな教育と

子育て支援策の考えは

町長

国、県の施策動向と町の財政計画を見合わせながら積極的に対応していく



佐藤 正 議員

議員 人口減少に危機感を持ち「若者定住支援」「就労支援」「独自の子育て支援」を柱とし、妊婦の方への医療費補助や出産祝い金交付事業を行って子供の産み育てやすい環境を創って、若い世代を県外から呼び込む考えは。町長 町の大きな政策課題として人口減少対策があり、その対応策として子育て世代が定着するための支援が重

要なものと考えている。国・県の施策動向と町の財政計画を見合わせながら積極的に対応することを基本姿勢としていく。

取り組みについては、特定不妊治療費助成事業、妊婦健診14回の受診無償化、小児の各種予防接種の無償化、小児インフルエンザに2000円の助成、新たに新生児視聴覚検査の検査、今年度より高校卒業まで医療費無償化、保育料は施設同時入所を条件とせず、第1子、第2子については半額、18歳未満の児童が3人以上いる世代の

真室川校を存続させるために

町長

キャリア教育、地元就職対策、進路指導等、支援を強化していく



佐藤 成子 議員

議員 今年も無事に入学式を迎えることができ安堵している。今後志願者数が減少していくことによって閉校への危機感が大である。中高一貫制度を導入することにによって入学者を確保できるのでは。町長 山形県では平成11年度より導入に向けた取り組みが始められ平成13年度に金山町、小国町で連携教育が始められた。県では内陸、

庄内にモデル校を設置、将来的に県内4学区への設置を検討するという現状において、真室川校への導入は困難であると認識している。

議員 いずれ社会に巣立つ子供達、その子供達に先行投資して地元にある高校、真室川校で育ててやりたいと考えている。今後の町の取り組みは。町長 真室川校存続の為入学確保を目的に就学支援事業として、平成28年度以降の入学者を対象に町内外問わず入学用品購入費や通学費用の支援、入学時に10万円、2年生3年生

一般質問は、行政全般にわたり町当局に対して事務の執行状況や将来における政策方針について議員個人が問いただすものです。

の際には迅速かつ安全に避難できるよう自主防災組織と連携しながら防災マップの作成見直しを進める。議員 排水ポンプ車の対応は。町長 一般の検証を踏まえ、郡内全体として排水ポンプ車の配備体制を再検討する必要があると考えている。議員 石名坂頭首工のゲート管理は、内町・新町地区の水位上昇に影響がある。どう対応するのか。

砂のたまりは川の氾濫に結び付く。これについての対応は。町長 立木や流木、土砂の堆積などが多くの河川で確認されており、浚渫などの対応の遅れが今回の越流による農地の冠水や住宅等浸水被害の一員であったと考えている。町管理の1河川は国庫補助を活用のうえ復旧工事を計画し、県管理河川10力所は早期の現地確認と対策を要望した。

町長 ゲートを開けるタイミングが遅くなると内水氾濫の一因になると推察されることから、今回の状況を含め早期にゲートを開放していただくなどの対策を要望した。



流れを阻害する支障木



無償化を検討している学校給食

第3子以降は無償化、児童クラブ利用料は減額、副教材費は無償化している。学校給食費無償化については検討していく。



真室川校生徒による「花いっぱい運動」

には各、5万円を給付している。本町の中学卒業見込み者数は、減少傾向にあるが一定数を真室川校入学者として確実に確保していくことが重要。今年創立70周年にあたり、真室川の活躍を広く町民に知らせるべく、記念として学校広報を作成しPRし

ていく予定と聞いている。キャリア教育と地元就職対策、進路指導の充実に向けた支援をさらに強化しつつ、入学者の確保に向け地域・保護者・生徒の信頼を獲得することが真室川校を存続させていくための現実的な方策であると考えている。

100歳祝金制度の復活を

町長

感謝の気持ちを表明し、検討する



高橋 秀則 議員

議員 町は以前に100歳になられた方に対し、長寿祝金として100万円を贈っていたが現在は廃止となつている。町の長寿命化につなげるために、金額は検討しながらも、長寿祝金制度を復活させてはどうか。

している節目のお祝い制度とともに、これまで真室川町を支えてこられたことへの感謝の気持ちをお祝いしながら、長寿をお祝いすることができるよう取り組みについて検討していく。

真室川校にエアコンを寄贈しては

議員 県立神室産業高校真室川校の普通教室にエアコンが設置されていないため、近年の猛暑で生徒は苦慮なさ

れている。学習能力を高めるためにも、町からエアコンを寄贈してはどうか。

町長 県立高校では同窓会、PTA、学校後援会などの寄付により整備されている場合があるようだが、真室川校の本校である神室産業高校の普通教室では未整備で、また新庄市内の一部高校の一部普通教室のみ整備済みと聞いている。慎重に見極めた上で判断すべきものと考えます。

学力向上に向けた公営塾の開設は

町長

魅力的な教育環境づくりを加え町の創生の実現に向け検討する



外山 正利 議員

議員 教育をキーワードとした地域再生の取り組みを。

議員 人口減少など大きな課題を抱える当町として、教育を含めた魅力ある町づくりを進めるため、近隣町村との差別化を図る事が重要な取り組みでは。

町長 保育と教育の環境を充実させることが結果として若者・子育て世代から評価され、



平野 勝澄 議員

各種施策を整理し効果的な発信に努める

町長

移住希望者へ真室川生涯プランの発信を

議員 移住希望者にむけ、生涯全体を通じた一貫したプランを示してはどうか。それを全国にわかりやすい形で発信を。

町長 「ふるさと回帰センター」で年数回、移住定住の募集PRを行っており、本年度からは新たに移住定住推進コーディネーターを配置し、「(仮称)移住定住推進協議会」を発足させる。



定住の要因として大きく寄与するものと考えている。保育・教育の分野をはじめ、本町への移住・定住の促進へ向け真室川らしい特色ある施策を検討する。

議員 町長・議会・教委・PTAなど一丸となった協働の取組は、ガバナンスの良い意味での見本なのでは。

町長 現行の議会との連絡協議会など意見交換の出来る仕組みがあるので、連携・協働していくことを大事にする。

議員 町民の健康に直結する、医師の勤務実

町立病院医師の過重労働改善を

議員 町民の健康に直結する、医師の勤務実

態をしっかりと把握、改善すべきだ。

町長 過重労働を抑制するために、4人の医師が毎月協議・調整しながら勤務予定表を作成している。医師の健康確保、勤務環境を整えるには、さらなる常勤医師確保が最も有効な手段で、関係機関への要請に全力を尽くす。



学力向上に向けたチームティーチング

町長 現行の議会との連絡協議会など意見交換の出来る仕組みがあるので、連携・協働していくことを大事にする。

議員 町民の健康に直結する、医師の勤務実

議員 町民の健康に直結する、医師の勤務実

町内高齢者人口(90歳以上)

Table with 4 columns: Age, Male, Female, Total. Rows from 90 to 105 years old, plus a total row.

平成30年8月31日調べ

防災対策と人口減歯止めにつなぐ

町長

防災対策の強化を図り・人口減少抑制に向け、積極的に取り組んでいく



佐藤 栄子 議員

議員 大雨警報による避難勧告について適正な対応であったか。

町長 家屋への浸水や土砂災害の危険性が高いと判断し、谷地・小国地区に防災放送にて避難勧告を発令した。また地区の方々が高確率に避難して頂く為、消防団へ全戸避難の要請をした。

議員 防災放送による避難情報はどのように行ったのか。

町長 区長や消防団と連絡し、必要に応じて職員が状況確認を行った。防災放送は、有事の際に避難の準備行動が必要と判断した区域にのみ行った。

議員 避難された町民への対応は万全であったか。

町長 避難所の運営に当たっては、自主防災組織の会長である区長・地区の方々、消防団・町職員が連携して行った。

議員 今後の対策は。

町長 災害対応の在り方を再度検討・見直しを行い、自主防災組織

などの会議を通じて防災体制の強化を図っていく。

議員 緊急通報システム導入の成果と対象世帯拡大の考えは。

町長 携帯用無線発信機及び緊急通報電話機により、最上広域本部に通報し、救助を受けるものであり、高齢者の安全安心に寄与しているものと考

えている。対象世帯の拡大について調査しながら対象者の構築について研究していく。

議員 緊急車両通行可能な町道等の整備と除雪体制の考えは。

町長 厳しい財政事情の中で、町道整備を進めなければならぬ現状があるが、緊急性の高い箇所を優先し、順次整備を進めている。道路幅が狭小な箇所については、調査の上整備していく。除雪は、町道除雪に余裕が出た時点で、稼働できる範囲内で実施しているが、定期的な出来ないか検討していく。



8月5日の豪雨による小国川の河川氾濫

町教育関係者との懇談会

◇7月19日(水)

議会では例年町教育関係者(教育委員、小中学校校長・教頭、教育委員会事務局)との懇談会を開催しております。

今年度のテーマ「求められている学力の実態について」

毎年全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に実施している「全国学力テスト」の実例問題が

説明されました。

現代のテスト問題は基礎力が求められるA問題と、読解力が求められるB問題に分かれており、読解力を向上させるには、新聞を活用した学習が大変有効であると分析されています。

他、各議員の質疑、学校側の取り組みの報告など貴重な意見交換の場となりました。



「全国学力テスト」に議員が挑戦する場面も

視察調査報告

新潟県佐渡市

(概要)

- ・人口55,798人 (H30年7月末)
- ・世帯24,043
- ・面積 855.61km² (市の沿革・歴史等)
- 平成16年3月1市7町2村が合併し、面積は東京23区の約1.4倍という、日本最大の離島。

空き家対策事業

◆対策支援事業



トキによる地域創生

老朽危険廃屋対策

平成22年度から経済対策として、放置されている危険家を解消し、地域住民の安全と自然景観の確保を図るため実施。

(補助率) 補助対象事業費の合計が30万円以上で補助率は1/2上限50万円

空き家再生等推進

平成29年度に、解体撤去後の跡地を公共の用に供することを条件に、行政区等が所有する空き家等の解体撤去経費の一部を、国の交付金活用し補助金交付。

空き家活用事業

◆空き家バンク
空き家が増加する一方で、都会から田舎へ生活の場を求め空き家利用を希望するU・I・ターン者が増加。

環境保全型農業

◆佐渡島水田の特徴

トキの保護が農業と無関係な取り組みと認識されていたが、「生きものを育む農法」を支援するため、県・

市・JAの積極的な取り組みにより環境保全型農業の拡大を行った。

◆佐渡トキ応援お米プロジェクト

(認証要件)

- ・生きものを育む農法により栽培された米。
- ・生きもの調査を年2回実施すること。
- ・栽培者がエコファーマー認定者であること。
- ・佐渡で栽培された米など、消費者がこの認証米を購入することで、募金総額が約1700万円となり、里山への理解が深まっている。

◆取り組みの成果

トキが自然状態で安定的に存続できるよう、2020年頃までに佐渡島に220羽を定着させることが目標。生産者・消費者を巻き込んだ取り組みが功を奏し、本年7月初旬に2年前倒しで目標を達成した。

【視察を終えて】

近年では都会から田舎へと生活の場を求める傾向が強まっていることから、自治体ならではの観光振興等が求められている。当町においても空き家(バンク等)を活用したりリフォーム等で、なお一層の空き家活用について推進されたい。環境保全型農業について、国の特別天然記念物「トキ」が生産者・消費者の意識が高揚している。当町でも環境王国の称号を受け、希少生物の生息地域もあることから、環境に配慮した農法を継続し、生産者・消費者双方の意識の向上につながることを期待したい。

みんなで議会傍聴

真室川中学校3年生



9月定例会、決算審査特別委員会を真室川中学校3年生69名が傍聴しました。「自分たちに関係あることも話し合われている」と驚きの声も。一部抜粋して紹介します。

荒木 寧音さん

議会を進めている人の話し方や進め方、答える側の話し方に注意して聞いた。真中の生徒議会と比べると、全く別のもので、質問者が納得するまで質問をくり返してすごうと思った。質問した人以外もメモをしっかりとっていた。内容は狂犬病のことや、途中で終わってしまったがALTの先生のことを話していた。司会者は、毎回毎回「〇〇さん」指名し視野が広いと思った。自分たちが普段考えないことや身近なことを質疑応答し、それが一番良いかなど内容の濃いものを話し合っていた。狂犬病のことでは「そんなに聞く？」と思うほど、お金や集落を回って受診することなど質問していた。議員の人たちはこうやって真室川を良くするために話し合っているのだなと思った。

高橋 玲華さん

必ず手を挙げてから発言していた。1つの質問に対して、たくさん話がかかっていたし、しっかりとわかるまで何度もきいていた。真中の生徒議会だと、あんなに活発な話し合いにならないし、質問も全然出ないので、すごく良いと思った。議員さんたちは、町のことをしっかりと考えていてすごくありがたいなと思った。みんなメモをとってすごうと思う。町では政治のことについてたくさん話しあわれていて、自分も少しでも町の政治に興味をもっていかないといけないなと思った。そして、学校の話し合いにもつなげられたらいいなと思った。

高橋 朋也さん

真中の議会に生かしていることがないかを探しながら聞いた。発言者は手を挙げて、同時に「委員長」と発言していた。委員長が指名しないと発言することができなかった。話が中学校とは違ってすごく難しかったし、隣の人や周りの人との会話がなくて、発言者のみが話している状態でせきをするにもしづらいうような空気だった。3年後、自分たちは選挙の投票をするので、いままらでも政治のことを調べたり、町内で回っている資料を見たりして、参考にできたらいい。

五十嵐千寿さん

静かな状態で、挙手をして、1人1人話す進め方は、大人だなあと感じた。クラスでの話し合いでも参考になるところが多くあったので、取り入れていきたい。町民のために身近な事でも丁寧かつ真剣に話し合う。特にふるさと納税の事は、町のこれからは深くかかわって欲しいと思うので、家に帰ってから、インターネットで調べようと思う。年々、町の人口が減ってきている中、どんな事ができるのか、とても考えさせられた。自分も町民の1人なので、議会を聞くだけで終わらずに、友達や家族と話し合っってこれからの町について考えていきたい。

早坂ひなりさん

細かいところから大きいことまで、じっくり話し合っていてすごうと思った。すごく静かで、一人ずつ立って話すので、その人にみんなが注目していた。また、質問一つに対して、さらに質問をかえすなどといった、私たちがちがう話し合いのすすめ方。決まりやルールを指摘しあいながら参加するので、あのようにスムーズに行えるのだと思った。特に気になったのは、「真中に配布している新聞について」のこと。私達に少しでも、知識や、学習向上をもてるように、取り組んでいるということを知った。この取り組みにこたえられるように自ら、コラム学習などを行い学力向上を目指すことが大切だと思った。

安食 空飛さん

地域の事について真剣になって考える、大切な会議だと思っので、議員の話を中心に、自分が地域のために何が出来るのか考えながら傍聴した。地域の特徴や環境、人々の現在の状態に基づいて、色々な面から考え、話し合っただ。特に、私達にも関わる給食や中学校の新聞代についても話し合われ、他人事じゃなく私達にも関わっている、とあらためて感じた。今私が地域のためにできることを、日々考えて行動していこうと、傍聴して思った。この町独自の雪や、環境王国としての対策を話し合っでいて、「真室川ならではの」のPR方法や行事（イベント）などを使って発展させようとする活動は良いと思った。

疑問点の総まとめ

- 疑問** 左奥に座っていた人達は？
答 町執行部の課長などです。何を聞かれても答えられるように、全員が参加していますが、答弁の出番がない場合もあります。
- 疑問** 30分以内で話し合いが終わらないときは？
答 決算委員会では、持ち時間30分で順番に、一人2〜3回ずつ質問します。一度で終わらなければ次に順番が回ってきたときに改めて聞きます。他の議員が質問を引き継ぐこともあります。
- 疑問** 答弁書などを作ったとしても、アドリブで話することはあるの？
答 決算委員会では事前の質問通告がないので、答弁書は作れません。すべてアドリブです。
- 疑問** その日の内に終わらなかつた議題は、次も話すのか、別で解決するのか？
答 日程の範囲内で次の日も続けられます。いったん議会で出た議題はすべて議会内で解決します。「別で解決」はできません。
- 疑問** そもそも議会は、どのような基準で行われるの？
答 基本的には執行部が提出する議案を審議します。今回みなさんが傍聴したのは決算委員会、昨年の予算執行が適切に行われたかどうかを決算書や付帯資料に基づいて審議しました。
- 疑問** 「資料名とページ数」と言っていたが、どの位の資料を使っているの？
答 みなさんが傍聴した決算委員会を使ったのは平成29年度各種会計歳入歳出決算書268ページと、その他資料計145ページ、合計413ページありました。このほか本会議では26ページほどの議案書などを使いました。



町民の声



西川地区区長
齋藤 孝廣さん

区長会事業研修で、9月定例会傍聴が6日にあり出席いたしました。
今回も色々な視点から町の問題点が議題に上がり審議されていきました。

まず、今年は集中豪雨による水害が多く災害に対する取り組み対応、また子育て支援対策、さらに町民挙げての教育問題などがなされ、当町に今一番必要な問題ではと思つたところでです。

これから益々高齢化社会に入る訳ですので、高齢者に対する訪問介護の充実化をめざし、健康な高齢者の町づくりを実現していただき、若者が定住できる、そして町の良い所を全国に発信し、当町に足を運んでいただける町をめざしていただきたいと思ひます。

今後町の発展のために、議員の皆様におかれましては色々な角度から更なる審議の活躍をご期待申し上げます。



区長会（傍聴）

傍聴お待ちしております

● 次回の
定例会は **12月**です

平成30年の本会議議事録は町ホームページでもご覧いただけます。

URL <http://www.yume-net.org/>

お問い合わせは _____

議会事務局まで

☎62-2111（内線205）

編集を終えて

8月の豪雨により災害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。災害復旧に当たっては、早期復旧や災害対策に全力で取り組んでいるところです。町民の皆様のご協力をより一層お願い申し上げます。

さて、今議会は29年度の決算議会であり、予算を執行した結果どのような成果を挙げたかを示す成果報告の場でもあり、その使われた結果を予算に照らして検討し、今後の町財政運営の改善に役立てていく決算審査の重要な議会でありました。

決算審査は、決算審査特別委員会で行われますが、今回の委員長には、広報委員長の平野勝澄議員が任命されました。多くの皆様に読んでいただければ幸いです。

（高橋 秀則）

〔議会広報常任委員会〕

委員長	平野勝澄
副委員長	佐藤正
委員	佐藤成子
委員	高橋秀則
委員	佐藤栄子